



関高進路さくら便り



さくら塾開催・「現役医師2人による進学講演会」

12月21日(月)に、岐阜大学医学部附属病院呼吸器科の医師、乾俊哉氏(武芸川町出身・岐阜大学助教)と大野康氏(関高校卒・岐阜大学教授)の講演会が開催されました。医師を目指す1年生から3年生までの23名が参加しました。『医療は職業として絶対的に善である』この言葉は、医療に関わる人は病める人に寄り添う、という意味です。患者の痛み・苦しみを少しでも癒したい、それが医師としての使命だ、という熱い思いが医療現場を支えているのだと思いました。医師だけでなく、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、栄養士など、医療を志す人も、関高校には多くいます。今の医療は「チーム医療」です。スタッフと協力しながら、患者の気持ちに寄り添える、そんな医療人になって、地域に貢献してほしいと思います。



《乾先生》

医学部を志した理由

祖父の代からの開業医で、親と同じ職業でいいのか、自分にはもっと合う仕事があるのではないかをいう葛藤もあった。人の役に立ちたいという気持ちが強く、人に奉仕できる仕事であり、自分は小さい頃から探究するのが好きだったので、医学を研究したいという思いが強かったです。

医学生生活

医学部は6年間。学業はすべてが必須科目で、すべての科目の試験に合格しないと進級できない。入学した後もかなり勉強しなければならない。一番大事なことは、「人間性」を養うこと。医師は患者さんに寄り添い、患者さんの気持ちを理解する人でなければならない。またどんな分野であっても物事を深く掘り下げて考える力をつけ、見分を深めることが、診察に役立ちます。

研修医

研修医は内科・外科・産科・救急・麻酔科を各1~2か月の期間で体験します。五島列島の小さな島で地域医療の研修もしました。現場では、研修医であっても常にベストに近い対応を求められます。

進路選択

呼吸器内科に進みました。「総合医療」か「専門」を選択するのではなく、「専門」という武器を持った総合医療ができる医師になりたいと思いました。

臨床医の仕事

患者や家族の希望を考えて検査・診療をします。大学病院の外来は患者数がものすごく多く、多くの患者さんと向き合うのには知識・判断力・マネジメント能力が必要です。仕事をこなす実行力と、人の話をよく聞く傾聴力が医師には必要です。医師にはチーム医療の中で、診察のリーダーとしての役目もあります。

研究

大学病院では、臨床診療と研究の両方をします。大学院に進学し、医学博士として海外の学会で研究発表もします。またネパールで呼吸リハビリの普及活動も行っています。

《大野先生》

関高校時代

関高校ではテニス部に所属し、応援団もやりました。(卒業アルバムの写



真には、昔の関高の制服、学ランを着た大野先生が写っていましたよ。)

医学部を志した理由

高校2年生の時です。肺がんに興味があって、がん治療のための新しい抗がん剤は作れないものかと、研究に没頭しました。医師を目指すなら、早ければ早い方がいい。行きたい大学の情報や、受験科目など綿密に調べることが大事です。

受験勉強

高校3年生になったら、テレビを見ないと決めて見ませんでした。自分でルールを課すことが受験には必要。3年生は最後の1~2か月で偏差値が上がる。共通テストまで最後まで伸びる。3年生の皆さんは、今からは特に体調管理をしっかりして下さい。

医師の生活

1年のうち1/3は病院に泊まる生活の時もあります。それでも患者が元気になってくれることが最高の幸せを感じる時です。患者を助けたいという気持ちがあれば、ぜひ医療へ進んで下さい。

女性医師の活躍

医学部の女子学生の割合も3~4割に増えました。女性と男性が違うのは、妊娠・出産があること。働き方改革もあり、女性の働く環境もよくなりました。男性も家事を引き受けて分担すればいいことです。男性が保育園に迎えに行ったり、洗濯したり。僕も朝早く起きてゴミ出ししていますよ。



地域医療

大規模病院は岐阜市に集中しています。岐阜大学の医師が美濃加茂、可児、高山、下呂などに診察に出向いています。岐阜大学が岐阜県の地域医療に関わる役割は非常に大きいです。

これからの医療

岐阜大学でも医学部と工学部の連携が進んでいます。手術は今やロボットで行っています。内視鏡をいかに駆使して使用するか、医学と工学の連携なしでは実現できません。医学と薬学もしかりです。



参加生徒の感想

◎ 普段は、本やインターネットでしか得られない医師の現場のことを対面で聞くことができました。自分が気になっている地域医療や、研修医の生活について知ることができて良かったです。高校生のうちから人間性を養うことで、患者さんに寄り添い、ベストな選択ができる医師を目指したいです！そのためまずは、勉強を一生懸命頑張り、医学部合格を目指します。

◎ 医学部や病院という医療現場のイメージを広げることができました。僕は地域医療に貢献したり、病院で薬剤師として活躍したいと考えているので残り短いですが、勉強に打ち込みたいと思います。

◎ 進路についてインターネットなどで調べてもあまり想像ができませんでした。今日詳しい話を聞くことができて、具体的にイメージすることができました。架空の症例から病気を診断したことが面白く、スラスラと話される様子がかっこよかったです。将来、お二人のように地域医療に貢献できる医者になるために、今から勉強を頑張り、いろんなことに挑戦していきたいと思いました。

◎ また、病院で働くお医者さんのことばかり考えていたけれど、シンプルに医学について探究していく道もあるということを知って、それもととても面白そうだと思いました。

◎ まだ将来のことなどあまり考えていなくてイメージができていなかったけど、今日話を聞いてイメージがわいたし、将来に向けて今から決断して目標を定めて、勉強をコツコツ始めるキッカケになった。

=====
医学部を目指すみんなは、夢を実現させるために、勉強への意欲を高めたセミナーとなりました。それぞれの冬休みを次へのステップへの有意義な期間にするか、しないかはアナタ次第です！冬休みは大事だよ～。

3年生にとっては、人生を賭けた勝負の冬休み (頑張り、3年生！風邪ひかないでね)

2年生にとっては、3年生ゼロ学期をスタートさせる冬休み

1年生にとっては、今から受験生という生活に切り替える冬休み

